令和8年度当初予算

安心とワクワクにあふれ、人やモノが集まる岐阜県づくり
「未来を切り拓く力強い岐阜県へ」

参考資料２

県民の「安心」の確保
～ 子ども・高齢者・障がいのある方を含め、誰もが安心できる岐阜県 ～

1. 物価高騰に負けない力強い社会を創る

（1）医療・福祉、子育て分野への支援

（2）生活の維持に困難を抱える方への支援

（3）賃上げ環境を整備するための企業への支援

2. 誰もが安心で健やかに生き、学ぶ力を育む

（1）子どもを産み育てやすい環境づくり

（2）豊かな感性を育む教育の充実

（3）人生 100 年時代の健康づくり、医療・福祉の充実

3. 環境課題への対応と防災力向上で命と暮らしを守る

（1）暮らしに身近な環境課題への対応と安全・安心な暮らしの確保

（2）暮らしと経済を支えるインフラ整備

（3）災害に強い地域づくり

未来に夢と誇りを持てる「ワクワク」の創出
～ 若者・女性が魅力を感じ、自信を持つことができる岐阜県 ～

1. 地域の潜在力を生かし産業競争力を高める

（1）産業や地域を支える環境づくり・人づくり

（2）社会課題を解決する新ビジネスの創出・拡大支援

（3）地域資源を生かした挑戦への支援

2. 食やエネルギーの自給を通じて力強い地域を創る

（1）「楽しい農業・儲かる農業」の実現

（2）新たなクリーンエネルギーの創出

（3）「木の国・山の国」の産業振興

3. 世界に誇れる魅力あるまちづくり

（1）持続可能な観光地域づくりの推進

（2）人生を豊かにする文化・スポーツ活動の促進

（3）賑わいを創出するまちづくり

令和8年度当初予算

安心とワクワクにあふれ、人やモノが集まる岐阜県づくり
「未来を切り拓く力強い岐阜県へ」

「◎」新規　「○」拡充

県民の「安心」の確保　～ 子ども・高齢者・障がいのある方を含め、誰もが安心できる岐阜県 ～

1. 物価高騰に負けない力強い社会を創る

（1）医療・福祉、子育て分野への支援

目指すべき10の目標:②③④

・　医療・福祉施設、学校などへの食材料費支援
・　医療・福祉施設への光熱費支援
◎　0歳から2歳児までの育児支援サービスの利用等に対する支援

（2）生活の維持に困難を抱える方への支援

目指すべき10の目標:②③④

◎　児童養護施設等の適切な養育を継続するために必要となる設備・備品の購入費用を支援（障害福祉サービス事業所、私立保育所等も同様に支援）
◎　過去、エアコンの購入・設置に要する費用が生活保護費（一時扶助）の支給対象外となっていた受給世帯に対し、その費用を支援
◎　児童養護施設退所者や特定妊婦等の支援拠点における支援物資購入費用を支援

（3）賃上げ環境を整備するための企業への支援

目指すべき10の目標:⑩⑰

◎　酒米価格高騰を受ける県内酒蔵の設備投資や酒米価格高騰分を支援
・　化学肥料の低減に向け堆肥等の活用等に必要な機械・施設の導入を支援
○　配合飼料等の使用量削減に取り組む畜産農家を支援
◎　賃上げ等につながる生産性向上等を推進する中小企業等の設備投資を支援
○　「稼ぐ力」の強化に向けて業態転換等に取り組む中小企業等を支援
○　中小企業等の省エネ設備への更新を支援
・　中小企業等の太陽光発電設備等の導入を支援

2. 誰もが安心で健やかに生き、学ぶ力を育む

（1）子どもを産み育てやすい環境づくり

目指すべき10の目標:②

＜子育て世帯への経済的支援＞
◎　公立小学校等に通う保護者の負担を軽減するために学校給食費を支援
・　公立高等学校の授業料相当額を就学支援金として支給
○　私立高等学校等の授業料定額補助を増額し、所得制限を撤廃
◎　0歳から2歳児までの育児支援サービスの利用等に対する支援【再掲】
◎　家庭での準備が困難な県立高校生を対象に学習者用タブレットを貸与

＜子育て負担軽減＞
◎　「こども誰でも通園制度」を実施する市町村を支援
○　性別に関係なく家事・育児を協力し合う「共家事・共育」を普及啓発

（2）豊かな感性を育む教育の充実

目指すべき10の目標:⑨

＜異学年教育の推進＞
◎　異学年集団による学び合いに取り組む市町村を支援
・　morinos での森林体験等において異年齢の子どもの交流活動等を実施

＜ふるさと教育・キャリア教育の推進＞
◎　将来を担う子どもたちを対象とした県庁見学会を開催
◎　県内産業を担う人材育成のため各専門学科に実習装置・設備を整備

＜教育現場のAI活用＞
・　小論文等の授業支援ツールとして教育用生成 AI を活用した授業を実施
・　デジタル技術を活用した新たな教育方法や生成 AI の活用等の研修を実施

＜多様な教育課題への対応＞
◎　夜間中学体験会を実施するほか、設置検討委員会による夜間中学の在り方検討
◎　小中学生による暴力行為などを未然に防止するようアドバイザーを設置

＜施設の充実＞
◎　「郡上特別支援学校」再整備の基本設計を実施
◎　老朽化が進む県立障がい福祉施設の再整備に向けた基本計画を策定
・　生活単位の小規模化に向けた県立児童養護施設「白鳩学園」再整備の基本設計を実施

（3）人生 100 年時代の健康づくり、医療・福祉の充実

目指すべき10の目標:③④

＜「ぎふモーニングプロジェクト」の推進＞
○　喫茶店利用者の健康データ等の取得・分析、スタンプラリーなどを実施
○　高齢者生きがいづくり応援窓口の出張相談先に地域交流カフェ等を追加

＜健康経営事業の推進＞
・　健康経営宣言企業における健康・スポーツポイント事業の活用促進を通じた健康づくりの推進
・　健康経営優良企業を増やすためのリーダー養成研修の実施など健康経営の推進

＜「ミナレク運動」の推進＞
○　事業者向けレク体験会の充実強化、大学と連携した指導者育成等の推進

＜地域医療構想の推進＞
・　県内病院の経営分析や個別コンサルティング、病院間連携への支援を実施
○　病床の適正化に伴う早期退職者への退職金割増相当額を支援

＜医療分野における人材確保、職場環境改善＞
◎　医師不足が顕著な特定診療科を専攻する医学生に修学資金を貸付
◎　病院薬剤師を確保するため奨学金の返還支援を行う病院を支援
・　業務を合理化するシステムの導入など医師の勤務環境改善を支援

＜障がい者の自立支援と社会参加＞
◎　患者が増加する障害者歯科診療所の診察室及びトイレ改修を支援
◎　若年障がい者を対象に生成 AI の活用講座や起業セミナー等を開催
○　発達障がい者への相談員を配置し、就労に重点をおいた相談支援を実施

＜福祉分野における人材確保、職場環境改善など＞
○　地域の児童や家庭の悩みに対応する児童家庭支援センターを支援
○　専門家による伴走支援により、介護現場の生産性向上モデル事業所を創出
◎　児童福祉系人材の確保に向け福祉系学部の学生向け就職相談支援を実施
・　介護ロボットや ICT 機器等を導入する介護事業者等を支援

3. 環境課題への対応と防災力向上で命と暮らしを守る

（1）暮らしに身近な環境課題への対応と安全・安心な暮らしの確保

目指すべき10の目標:⑤⑥⑧

＜獣種に応じた鳥獣被害防止対策の実施＞
○　先端技術によるツキノワグマの追い払いや捕獲支援、出没情報発信
◎　政策オリンピックで有用性が確認されたニホンザル対策を県内各地にて実証
◎　ドローンを活用したニホンジカの効果的な捕獲方法を検証

＜ジビエ利活用の拡大＞
◎　捕獲個体の解体処理施設への搬入等を支援

＜自然環境の保全と活用＞
○　針葉樹人工林を針広混交林へ転換していくためのモデル事業を実施
○　全県域の河川・地下水を対象としたPFAS測定調査の実施
○　第 10 回「山の日」記念全国大会を開催
・　特定外来生物の防除に取り組む市町村を支援

＜省エネルギー対策の推進と資源循環型社会の形成＞
・　省エネ効果の見える化等による省エネ行動の促進
・　事業者への省エネ相談や省エネ診断支援
◎　食品ロス削減に向けたキャンペーンの実施やエコレシピの募集

＜安全・安心な暮らしの確保＞
◎　空き家の活用を促進するため市町村や民間事業者等からアイデアを募集
◎　自転車事故等を仮想体験できる VR ゴーグルを活用した出前講座を実施
◎　「匿名・流動型犯罪グループ」対策として捜査用カメラ等を整備

（2）暮らしと経済を支えるインフラ整備

目指すべき10の目標:④

＜道路整備の推進＞
・　東海環状自動車道や濃飛横断自動車道等の幹線道路ネットワークの整備
・　緊急輸送道路等の災害に強い道路整備

＜治水・治山・中山間農地の保全＞
◎　特定都市河川の指定による流域治水の強化
・　治山施設と森林整備の組み合わせによる総合的な防災力の強化
◎　農村地域の防災力強化に向けた「第 28 回全国ため池フォーラム in ぎふ」を開催

＜インフラ施設の計画的な維持管理＞
◎　AI を活用した道路維持管理の効率化
・　道路・河川・砂防施設の計画的な維持管理の推進

（3）災害に強い地域づくり

目指すべき10の目標:④

＜自助・共助の最大化＞
◎　地域のモデルとなる防災訓練への支援
◎　消防団・水防団員等を地域で盛り立てる応援事業所の拡大

＜公助の強化＞
◎　市町村防災業務効率化に向けデジタル技術を活用した避難所運営訓練を実施
◎　防災庁の誘致に向けた機運を高めるシンポジウムを開催
◎　トイレコンテナ等市町村支援用の資機材を分散配置

＜災害時医療・福祉体制の強化＞
◎　災害支援ナースなどの派遣体制強化のための資器材等整備を支援
・　高齢者施設の防災・減災に資する施設整備等を支援

※掲載しています施策には、一部令和7年度3月補正予算対応分が含まれています。　印は政策オリンピック実施事業です。

令和8年度当初予算

安心とワクワクにあふれ、人やモノが集まる岐阜県づくり
「未来を切り拓く力強い岐阜県へ」

「◎」新規　「○」拡充

未来に夢と誇りを持てる「ワクワク」の創出　～ 若者・女性が魅力を感じ、自信を持つことができる岐阜県 ～

1. 地域の潜在力を生かし産業競争力を高める

（1）産業や地域を支える環境づくり・人づくり　目指すべき10の目標:①⑦⑧

＜「働いてもらい方改革」の浸透＞
◎　「働いてもらい方改革」に取り組む企業の合同企業展を開催
◎　障がいのある方の多様な働き方の実現に向けセミナーや情報交流会を実施
◎　「働いてもらい方改革」浸透に向けた異業種交流会等を開催
◎　多様な働き方の実現に向けた経営者等の研修を開催
◎　業務細分化に取り組む事業者をワークショップや実証事業により支援
◎　賃上げ等につながる生産性向上等を推進する中小企業等の設備投資を支援【再掲】
○　「稼ぐ力」の強化に向けて業態転換等に取り組む中小企業等を支援【再掲】

＜産業のデジタル化の推進＞
◎　ソフトピアジャパンを中心に交流事業や情報ツール導入支援等を実施
◎　DX 人材の育成と DX を活用した働きやすい環境づくりを支援

＜行政のデジタル化の推進＞
◎　県の DX 推進人材を育成するオンデマンド研修を実施
◎　生成 AI の活用による業務の効率化
・　デジタル技術を活用したサービスの実証等、市町村の地域課題解決を支援
◎　警察業務の効率化に向けた刑事手続 IT 化に対応するための関連機器を整備

＜若者・女性の活躍促進＞
◎　若者・女性に選ばれるサステナブル経営企業の SDGs 認証制度を創設
◎　若者の視点を取り入れた商品企画のための座談会等を開催
◎　「かっこいい建設業」の動画を作成し建設業の魅力を発信

＜専門人材の確保・育成＞
◎　航空宇宙関連企業の魅力向上に資する先導的な事業を支援
◎　航空宇宙関連企業の魅力を PR する高校生向け出前講座等を開催
◎　産業用ロボットを活用する技術者育成を強化

＜外国人材の活躍促進＞
○　外国人材を活用する企業に対し、相談窓口などの伴走支援を実施
◎　「外国人材活躍・多文化共生推進基本方針」改定に向けた実態調査を実施

（2）社会課題を解決する新ビジネスの創出・拡大支援　目指すべき10の目標:⑧

＜市場開拓・企業誘致＞
◎　「GIFU スペースビジネス協議会」を核にスペースビジネスへの参入等を支援
◎　県内企業のウェルネス産業等への参入・事業展開を支援
◎　県内企業の海外展開に向けたセミナー・商談会等を開催
◎　新たな立地企業の掘り起こしとともに「マンツーマン型支援」を実施

＜スタートアップ支援＞
◎　市町村等とスタートアップとの官民連携による地域課題解決の取組を支援
○　県内企業とスタートアップとのオープンイノベーション拡大を支援

（3）地域資源を生かした挑戦への支援　目指すべき10の目標:⑧

＜地域の潜在力の活用＞
◎　規制を乗り越える革新的な農業生産方式によるモデル実証を支援
○　森林サービス産業へのインバウンド受入支援やモニターツアーを実施
・　所有者不明山林問題の解決に向け隣接県と連携した国提案等の取組

＜循環型経済の促進＞
◎　バイオコークスの普及推進のための実証実験や展示会での有用性の PR
◎　リサイクル材料等の活用によるサーキュラーエコノミーを推進

2. 食やエネルギーの自給を通じて力強い地域を創る

（1）「楽しい農業・儲かる農業」の実現　目指すべき10の目標:⑤⑧

＜アグリパーク構想の実現に向けた取組促進＞
◎　多様な主体の農業参画に向けアイデアを募集し、モデル構築を支援
◎　構想具体化に向けた機械導入・施設整備等を支援
◎　技術サポート拠点を整備し、幅広いニーズに応じた技術支援体制を構築
◎　農業参入の初期投資の負担軽減のため機械のシェアリング等の体制構築を支援

＜地域農業を牽引する経営体の育成＞
◎　就農希望者を受け入れる先進農家に対し施設強化に係る経費を支援
◎　農外企業の参入促進に向けたセミナー、キャラバン活動等を実施
・　地域計画に位置付けられた担い手への農地の集積・集約化を支援
・　農産物の供給力強化に向けた区画拡大等の生産基盤整備を実施

＜潜在力をフル活用した生産力強化＞
◎　県育成水稲新品種「清流のめぐみ」の知名度向上と生産性向上の技術を実証
◎　消費者から選ばれる農畜水産物づくりに資する研究開発を推進
◎　米、野菜などの供給力強化や魅力ある農産物づくりを支援

＜新たな流通ルートの開拓、販路拡大＞
◎　米の流通実態調査を実施、直売所の予約販売等の仕組み構築を支援
◎　農業者と名古屋圏の飲食店等をつなぐ「名古屋圏販路開拓支援センター」を設置
○　アンテナショップ（名古屋市）を拠点とした農産物販売力を強化
◎　「地消地産」の特色ある学校給食を提供するために食材の購入経費を支援
◎　天然鮎の広域集出荷システムを構築、新たなブランド鮎を開発
◎　海外に県内の食の情報を発信し、県産農畜水産物の魅力を体感できる機会を創出

（2）新たなクリーンエネルギーの創出　目指すべき10の目標:⑥⑧

＜持続可能なエネルギー供給体制の創出＞
◎　バイオコークスの普及推進のための実証実験や展示会での有用性の PR【再掲】
・　燃料材主体でも収益が期待できる「エネルギーの森づくり」を推進する事業者を支援
◎　砂防堰堤等を活用した小水力発電の導入可能性調査・検討を実施

＜カーボンニュートラルの実現に向けた取組＞
○　「G－クレジット」の創出拡大及び活用方法を拡充
・　木質バイオマスの熱利用促進に向け、設備導入や搬出を支援

（3）「木の国・山の国」の産業振興　目指すべき10の目標:⑥⑨

＜100 年先を見据えた森林づくり＞
◎　スギ人工林を伐採し、花粉の少ない苗木への植替等を促進
○　針葉樹人工林を針広混交林へ転換していくためのモデル事業を実施【再掲】

＜県産材の需要拡大＞
○　県産材を活用した住宅の新築、リノベーション等を支援
○　非住宅建築物の木造化、内装木質化等の県産材利用を支援
◎　スギ・ヒノキ人工林資源の大径材利活用に向けた新たな戦略を策定
○　中大規模木造建築の技術開発に係る基本計画の策定

＜森林・林業・木材産業人材の育成＞
◎　限られた人材で持続可能な森林・林業の実現を目指す担い手戦略を策定
◎　林業労働災害が多い中堅技術者の安全意識向上・指導力強化研修を実施
・　森林文化アカデミーを拠点とした森林・林業・木材産業人材を育成

＜森林サービス産業の育成＞
○　森林サービス産業へのインバウンド受入支援やモニターツアーを実施【再掲】
・　森林サービス産業育成のための「ぎふ森フェス」の開催を支援

＜「ぎふ木育」の推進＞
○　揖斐川町の新たな「ぎふ木遊館サテライト施設」の整備を支援
・　全世代を対象とした多様なプログラム等を実施（ぎふ木遊館、morinos）

3. 世界に誇れる魅力あるまちづくり

（1）持続可能な観光地域づくりの推進　目指すべき10の目標:⑩

＜地域資源の磨き上げ・魅力発信＞
◎　豊富なアウトドア資源を活用した誘客プロモーションを展開
◎　森林空間等アウトドア資源への誘客に向けたトイレ等の受入環境整備を支援
◎　農業や林業等、観光と異分野が連携した着地型体験ツアー「Discover GIFU」の充実
◎　武道に関する講演、演武披露など武道に触れる機会を創出
◎　関ケ原古戦場を核としたストーリー性のある戦国・武将観光を推進
◎　関ケ原古戦場において関ケ原町が実施する賑わい創出事業等を支援

＜周遊・消費拡大の促進＞
◎　歴史や文化など地域資源をストーリーでつなぐ周遊観光の取組を支援
◎　近隣県等と連携した県産品販路拡大を支援
○　木曽三川を活用したサイクルツーリズムを推進

（2）人生を豊かにする文化・スポーツ活動の促進　目指すべき10の目標:⑦⑧⑩

＜文化芸術に親しむ機会の創出＞
◎　「高山陣屋」や「ぎふ清流座」での地芝居公演を開催
◎　文化・芸術に親しむ「アート体験プログラム」を開催
◎　青少年や障がいのある方の文化活動の発表機会を創出

＜伝統文化の次世代の担い手育成の推進＞
◎　民俗文化の担い手となる若い世代へ伝統芸能を鑑賞・体験する機会を創出
◎　各保存団体等で構成する伝統芸能連絡会議を開催し、課題共有や好事例を横展開
・　地芝居の保存・継承や発表機会創出を支援

＜国際・全国規模大会を契機とした魅力発信・スポーツ参加促進＞
◎　「クリスタル国スポ岐阜 2027」を開催
◎　アジア大会における会場等での本県の魅力ある観光地等の PR や観戦企画を実施
◎　競技団体等が実施するスポーツイベントを支援

＜伝統的地場産業の支援＞
◎　地域産業の中核を担う人材の育成と従事者同士のネットワーク形成を推進
◎　小中学校への訪問など熟練技術者等との交流を通じた次世代担い手を育成
◎　宿泊施設や商業施設等における伝統的工芸品の購入を支援

（3）賑わいを創出するまちづくり　目指すべき10の目標:⑧⑨⑩

＜地域の賑わい創出＞
◎　県立図書館・美術館を核とした「県民文化の森」わくわくプロジェクトを展開
◎　県博物館開館 50 周年記念岐阜神岡恐竜渓谷プロジェクトを実施
◎　県を代表する新たな名品開発に向け事業者からアイデアを募集し開発を支援

＜関係人口の拡大・移住定住の促進＞
・　県外小中学生が本県を「もうひとつのふるさと」として感じてもらえる交流・防災体験を支援
・　三大都市圏の移住交流拠点を核とした相談対応と移住セミナー等を開催

＜中心市街地活性化と未来のまちづくりの推進＞
◎　中心市街地での遊休不動産の利活用を促進
・　新たな交通システム導入を含めた賑わいある岐阜圏域のまちづくりの検討を推進
・　リニア中央新幹線活用戦略を改定し、東濃・可茂圏域のまちづくりを推進
・　市町村が行うリニア岐阜県駅周辺整備などの基盤整備事業を支援

※掲載しています施策には、一部令和7年度3月補正予算対応分が含まれています。

印は政策オリンピック実施事業です。

令和８年度当初予算施策一覧

令和８年度当初予算の各施策を、「安心」と「ワクワク」の柱ごとに一覧で掲載しています。

また、令和７年度当初予算で整理した１０の「目指すべき目標」との関係性をお示ししています。

【参考】目指すべき１０の目標

安心

① 若者や女性が持てる力を発揮できる働き方や職場をつくる。

② 子どもを産み育てやすい環境やサポートシステムをつくる。

③ お年寄りや障がいがある方が活躍できる場や居場所をつくる。

④ 災害などに強いインフラや医療・防災システムを整備する。

⑤ 鳥獣害のない里山を作り多様な価値を生む農業を推進する。

⑥ 山林や堆肥などを活用したクリーンなエネルギーを供給する。

⑦ 中堅中小企業の生産性を高め伝統産業の価値を発信する。

⑧ 社会課題を解決し未来を拓く新たなビジネスや産業を生み出す。

⑨ 豊かな感性を育み多様な子どもが一緒に学ぶ教育を実現する。

⑩ 文化や芸術、スポーツなど人生を豊かにする活動を促進する。

ワクワク